



2026年6月5日

各位

会社名 あすか製薬ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 山口 惣大
(コード番号 4886 東証プライム)
問い合わせ先 グループ経営企画部長 市川 学
(TEL. 03-5484-8366)

当社定時株主総会の上程議案に関する ISS 社の推奨レポート (会社提案に賛成／株主提案に反対)について

当社は、2026年6月24日開催予定の第5回定時株主総会(以下「本株主総会」といいます。)の上程議案に関連して、議決権行使助言会社である Institutional Shareholder Services Inc.(以下「ISS 社」といいます。)が、賛否レポート(以下「本レポート」といいます。)を発行したことを確認いたしましたので、株主の皆様にお知らせいたします。

ISS 社は本レポートにおいて、ダルトンら(注 1)に対する対抗措置の発動に関する議案(第11号議案)を含む、当社の提案するすべての会社提案(第1号～第11号議案)に対して「賛成」での議決権行使を推奨し、ダルトンらによる株主提案である第12号議案「監査等委員でない取締役2名選任の件」に対して「反対」での議決権行使を推奨しております。

(注1) 「ダルトンら」とは、ダルトン・インベストメンツ・インク(Dalton Investments, Inc.)、ニッポン・アクティブ・バリュー・ファンド(NIPPON ACTIVE VALUE FUND PLC)、エヌエービーエフ・セレクト・エルエルシー(NAVF Select LLC)、ダルトン・インベストメンツ・エルエルシー(Dalton Investments LLC)、ダルトン・アドバイザー株式会社、Rosenwald Capital Management, Inc.、ライジング・サン・マネジメント(Rising Sun Management Ltd.)、Hikari Acquisition、Michael 1925、ジェイエムビーオー・ファンド・リミテッドの総称です。

当社といたしましては、グローバルに議決権行使に関する助言を行っている ISS 社が、当社から独立した第三者としての立場で本株主総会の議案について分析したうえで、当社取締役会の考え方を全面的にご支持いただいたものと受け止めております。

本レポートにおいては、当社が新たに策定した「中期経営計画 2028」の発表等に伴う経営執行への信頼の高まりが評価されております。また、監査等委員会設置会社への移行や、独立社外取締役が過半数を占めることによる取締役会構成の改善といった当社のガバナンス強化の取り組みについても、賛成理由として挙げられております。

特に第 11 号議案については、ダルトンらが買い増しを企図していることに加えて、ダルトンらが、その関係者を取締役候補として株主提案をしているにもかかわらず、仮に提案候補者が取締役就任した場合に、当社の課題にどのように対処していくのかといった具体的な企業価値向上策や変革の根拠が十分に提示されていないことも賛成理由として明記されております。

また、ダルトンらによる株主提案である第 12 号議案については、上記と同様の理由から「現行体制の変革を求める合理的理由を示していない」ものとして、反対推奨がなされております。

上記の本レポートの内容は、当社の持続的な企業価値向上に向けた取り組みについて ISS 社にご理解をいただいた結果であると認識しております。また、当該内容は一般の株主の皆様への議決権行使判断にとっても有益な情報であると考えられることから、本プレスリリースを通じて広くお伝え申し上げる次第です。

株主の皆様におかれましては、当社の招集ご通知及び各種開示資料をご参照いただき、会社提案へのご賛同と、当社取締役会の意見へのご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以 上